

サポートルーム 個別指導運動紹介ビデオ

2020年10月23日（金）5校時

第1学年 8名 第2学年 9名 第3学年 14名
第4学年 14名 第5学年 6名 第6学年 12名
指導者

1 サポートルームとは

通常学級での学習におおむね参加できるものの、発達のアンバランスやコミュニケーションの課題から、集団での学習や活動に困難さのみられる児童がいます。そうした児童に対して、良さを伸ばしたり、困難を軽減したり、苦手さを克服したりしながら、在籍学級で有意義な学校生活を送れるように支援するのが特別支援教室です。町田市では特別支援教室をサポートルームと呼んでいます。

小山中央小学校は拠点校として小山中央小学校の児童のみを対象として指導しています。

①指導対象

- ・相対的に知的な遅れはないものの、発達のアンバランス、多動等のため、通常学級での学習や生活に困難を示す児童。(ASD、ADHD、LD等)
- ・社会性、言語能力、情緒面などの問題により、対人関係や集団への適応に困難を示す児童。
- ・必要な場面で援助要請がうまくできない、緊張するとチック等が出てしまう児童。

②指導時間・指導期間

週あたり2単位時間が原則です。2年間で基準となります。

③指導内容

3～5人の小集団指導と個別指導を組み合わせて行っています。

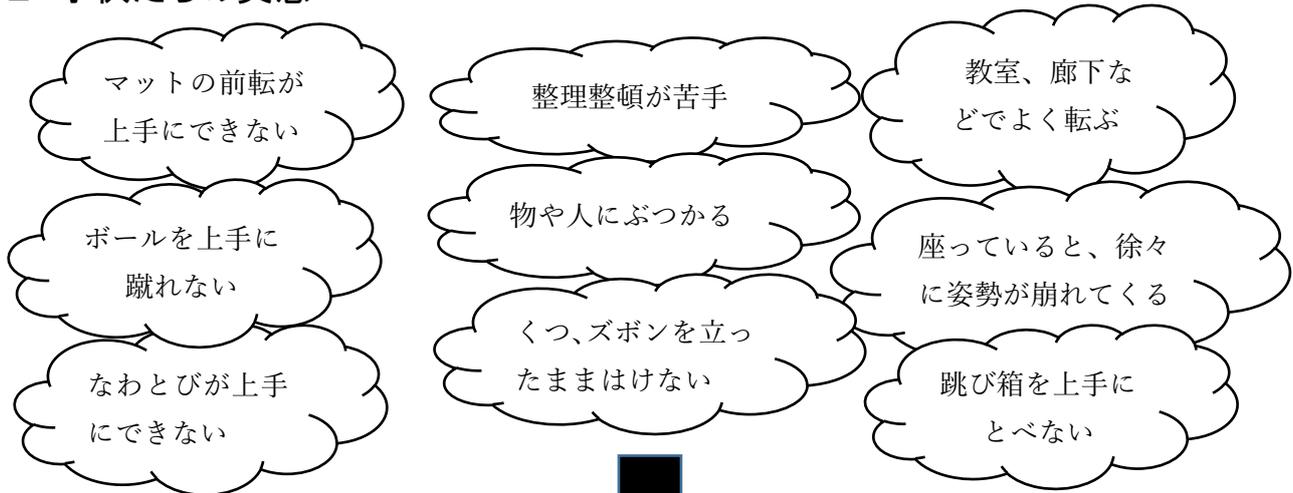
●小集団指導・・・ソーシャルスキルトレーニングを中心に行っています。

- ・着席する、注目する、集中する、話を聞くなど、学び方の姿勢を身に付けます。
- ・人と関わるときに必要なスモールステップで成功体験を積み重ね、自己肯定感を高めながら、学級集団の中でも実践できるようになることを目指します。
- ・問題解決の方法や、自分の気持ちや行動をコントロールする方法を身に付けます。
- ・自分の気持ちや考えを相手に伝える、相手の言葉や行動の意味を理解するなど、コミュニケーション力を身に付けます。

●個別指導・・・1人の教員が1～2名の児童について指導を行います。

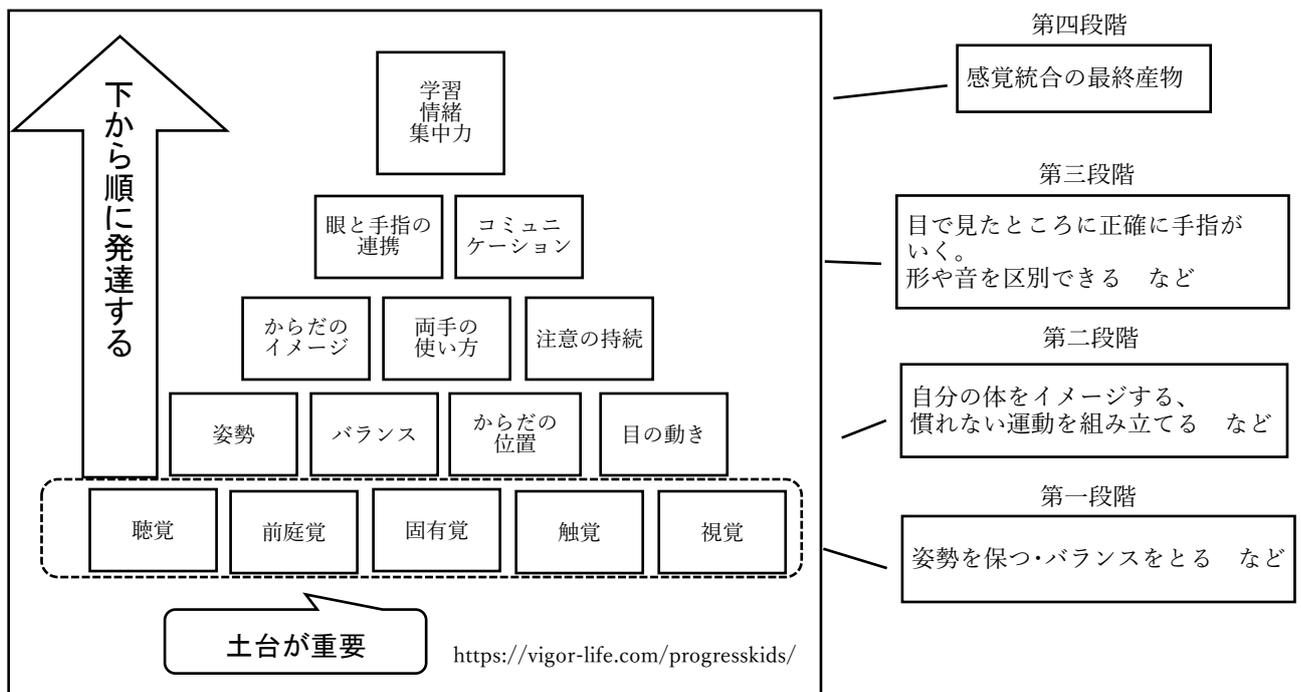
- ・保護者、担任と相談しながら作成した個別指導計画のねらいをもとに、一人一人の特性に応じた課題に取り組めます。
- ・認知学習では視覚・聴覚・集中・記憶課題など、学習の基礎となるスキルを指導します。
- ・自己理解を助けたり、障がいによる習得の困難さについて、代替の学習方法を指導したりします。
- ・運動では身体の2箇所以上の部分を一度にバランスよく動かす「協応運動」や、自分の身体がどのように動いているかを感じ取る「ボディーイメージ」を高めるなど、いろいろな動きをすることで、感覚統合を目指します。
- ・作業的学習では見通しをもって作業することや指先の巧緻性の向上を図るとともに、助言や援助を受け入れることができるように指導しています。

2 子供たちの実態



これらは、**感覚統合**がうまくはたらかないことに深く関わっていると考えられます。

※**感覚統合**とは複数の感覚を整理したりまとめたりする脳の機能のこと。



子どもは感覚統合をくりかえして成長していく。

3 運動のねらい

サポートルームでは、一人一人のもつ困難さ苦手さを見取り、個別に目標を立てて指導しています。そこで、「感覚統合」の考え方を取り入れながら、土台となる感覚を育てていくための運動を個々の指導の中に取り入れています。この土台の一つ一つが結び付くことにより、体幹を育てたり、姿勢の保持や目の動きがよくなったり、ボディイメージをつくったりすることを目指します。

4 運動の実際

指導のポイント

- 体幹を安定させる
- 姿勢を保持させる
- 見る力を育てる

指導事例 1 だるま

(ねらい) 体幹を鍛える

- (やり方) 1 仰向けになる
2 腕を胸の前で組む
3 膝をまげ、頭を上げて、へその辺りを見る
4 その姿勢をキープ

指導事例 2 飛行機

(ねらい) 体幹を鍛える

- (やり方) 1 うつ伏せになる
2 両腕を広げて、胸をそらす
3 太ももから足を浮かす
4 その姿勢をキープ

指導事例 3 腕立て移動

(ねらい) 体幹を鍛える

- (やり方) 1 マットの真真中に台を用意する
2 両手を台に置き、腕立ての姿勢をとる
3 その姿勢を保ちながら左右に移動する

指導事例 4 平均台 (お手玉拾い)

(ねらい) 体幹を鍛える

- (やり方) 1 肩から斜めに袋をかける
2 平均台上でしゃがむ
3 お手玉を拾う
4 袋に入れて進む

指導事例 5 両足ジャンプ

(ねらい) 体幹を鍛える

- (やり方) 1 両腕を指先まで伸ばして、耳につける
2 姿勢を保ったまま、膝を曲げずに腹筋背筋を意識して跳ぶ

指導事例 6 川跳び

(ねらい) 体を支える

- (やり方) 1 マットの中央に両手をつく
2 腰を浮かせて両足を揃え、マットをとび越える
3 左右交互に繰り返す

指導事例 7 鉄棒 つぼめ

(ねらい) 姿勢を保持する

- (やり方) 1 肘を伸ばして鉄棒に乗る
2 足を真つすぐに伸ばす
3 身体を斜めに保つ
4 10秒キープ

指導事例 8 **ボール投げ**

(ねらい) ボディイメージをつける

- (やり方) 1 的に対して利き腕の方向に体を向ける
- 2 ボールを胸の前で構える
- 3 的を見る
- 4 利き腕と反対の足を踏み込み、投げる

指導事例 9 **バランスクッション渡り**

(ねらい) 姿勢を保持する

- (やり方) 1 バランスクッションに乗る
- 2 斜め前のクッションに片足を乗せる
- 3 もう片方の足も乗せ3秒バランスをとる
- 4 これを繰り返しながら渡る

指導事例 10 **眼球運動**

(ねらい) 眼をスムーズに動かす

- (やり方) 1 眼を左右に動かす
- 2 眼を上下に動かす
- 3 眼を斜めに動かす
- 4 寄り眼にする

指導事例 11 **数字さがし**

(ねらい) 眼とからだの連携

- (やり方) 1 バラバラに散らばった数字を順番に「1」「2」と声に出しながらタッチする。
- 2 慣れてきたら、できるだけ速く行う

指導事例 12 **まねっこゲーム**

(ねらい) 眼とからだの連携

- (やり方) 1 足のイラストと同じポーズをする
- 2 横方向に順番に見て同じポーズをつくる
- 3 縦方向も同じように行う
- 4 一定のリズムに合わせて、なるべく速く行う

指導事例 13 **ボールキャッチ**

(ねらい) 眼とからだの連携

- (やり方) 1 テーブルとボールを用意する
- 2 大人がテーブルの端からボールを転がす
- 3 子供はボールを手でキャッチする
- 4 慣れてきたら、ボールを2個連続、3個連続で転がして、キャッチする

参考資料一覧

指導事例 1 だるま



指導事例 2 飛行機



指導事例 3 腕立て移動



指導事例 4 平均台



指導事例 5 両足ジャンプ



指導事例 6 川跳び



指導事例 7 鉄棒つばめ



指導事例 8 ボール投げ



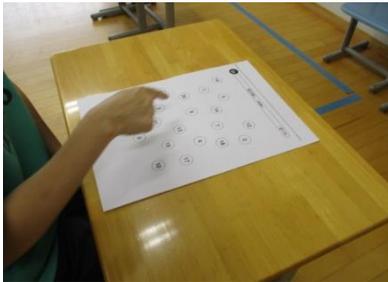
指導事例 9 バランスクッション渡り



指導事例 10 眼の運動



指導事例 11 数字探し



指導事例 12 まねっこゲーム



指導事例 13 ボールキャッチ

